

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 101 2012.10.28 連絡先 402-1622 >

決算特別委員会

10月10日から18日までの間の5日間、平成23年度決算特別委員会がありました。一般会計と16の特別会計の決算を審査する委員会です。私松坂は今回初めて委員となり参加しました。

日本共産党は、予算執行のすべてに反対するものではありません。しかし、多額の不用額や繰越を生みだしており、限られた予算を有効に使ったとは言いきれません。また、特別法が終了しても改良住宅使用料の減額や子ども会への補助金など漫然と旧同和事業が継続されていることや、国保特別会計では単年度では黒字になっているにもかかわらず累積赤字の解消のために使い、国保料引き下げには使われないこと、人件費節約を目的に正規職員を削減する分を、非常勤職員や賃金支弁職員、臨時的任用などで補って、その賃金格差を行財政改革の効果としていることなど、さまざまな問題点が含まれており、決算認定には反対しました。



「原爆写真展」のお知らせ

11月2日(金)～12日(月) 市役所1階ロビー

広島市などの子どもたちが書いた平和ポスター
30点(原画)

平和市長会議参加5000都市突破記念ポスター
18点

市の平和事業の一つです。ぜひご覧ください。

みち子のひとりごと 歯医者

キャラメルを食べて、歯の詰め物がとれたまま約2か月……。歯医者へ行くにはかなりの決意が必要でした。大きな不自由はなかったのですが、最近反対側に痛みが出てきました。心なしか腫れてきてるような気がします。

21日に行われた生協まつりで「うちの娘も、子どものお箸は別にしてますよ」と声をかけていただきました。以前書いた「娘が孫の口に入るものは大人とお箸を別にしていくけど、そこまでしなくても…」という話を読んでくださった方でした。虫歯菌などは大人の口から移るのでやはり有効なことなんです。虫歯の痛みと、歯医者の「キーン」はできることなら経験させたくありませんもの。

歯医者へ行くかなくては……。どこかによさしい歯医者さんがあれば、そっと教えて下さいませんか。

来年度予算編成への要望書を提出しました

重市長に手渡した重点項目（10件）の内容は以下の通りです。

- 1、政府に対し、環太平洋経済連携協定（TPP）への参加を断念するよう求め、市独自の新規就農者への支援策の創設。
- 2、住宅リフォーム助成制度の制定。
- 3、国保料の一人1万円引き下げ。
- 4、後期高齢者医療制度の即時中止を求めること。
- 5、旧同和事業として継続されている各種の事業の即時終結。
- 6、場外馬券売り場の建設計画に反対を。
- 7、子どもの医療費の中学校卒業まで無料化。
- 8、介護保険料は引き上げしないこと。
- 9、滝畑への安定型産業廃棄物最終処理場の建設の申請は受理しないように。
- 10、防災無線の整備と拡充、避難所の見直しと安全性の検討などを進め、震災津波対策を早急にすすめること。



くにしげ秀明です

よろしく

おねがいします



日本平和委員会の「平和新聞」編集長、布施祐仁さんの講演「そのけそのけ自衛隊が通る！災害派遣の裏側で」を聞きました。

「す」というアメリカの対日要求や、自衛隊の隊内教育、学校での職場体験学習などで国民への浸透を図っている内容などにふれて、自衛隊の実像を

布施氏は、自衛隊も共に血を流すというアメリカの対日要求や、自衛隊の隊内教育、学校での職場体験学習などで国民への浸透を図っている内容などにふれて、自衛隊の実像を詳しく語ってくれました。在日米軍の存在は日本を守るためではなく、オスプレイ配備にみられるように世界戦略によるもの。自衛隊が米軍との共同作戦に参加しないよう、厳しい監視と運動が必要です。

日本の巨大メディアを考える ② 志位和夫

たとえば、毎日新聞が1968年から69年に企画した安全保障問題の政党討論会です。5つの政党に「組閣」をさせ、他の4党が野党になって質問をおこなうという方式で討論が行われた。この企画は、5つの政党を国会の議席に關係なく平等に扱って、行われませんでした。当時、日本共産党の衆院の議席数は5議席でしたが、全く平等に扱った。共産党の「内閣」の顔ぶれは、「首相」となった宮本顕治さん、「閣僚」となった不破哲三さん、上田耕一郎さんは、そろって当時は非議員、国会議員は松本善明さん、渡辺武さんの2人でした。それでも「共産党への質問戦」も同じように平等に扱われ、毎日新聞の紙上で長い連載となりました。

また、1960年代の末から70年代の前半にかけて、日本共産党が国政選挙で躍進を重ねると、政界に新風を吹き込んだ日本共産党の活動に、メディアも大きな注目をよせ、事実を事実として受け止めた報道をおこないました。